【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2006-158135(P2006-158135A)
【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2006-023
【出願番号】特願2004-347701(P2004-347701)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　33/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　33/16　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明において、前記固定体は、前記コイルの外周面から当該コイルの軸線方向の両側を回りこんで一方の先端部と他方の先端部が前記第１の可動体側ヨークの外周面と前記コイルの内周面との隙間内に位置する固定体側ヨークを備え、当該固定体側ヨークの前記先端部は、スリットを介して軸線方向で対向し、当該固定体側ヨークと前記可動体との間には間隙が確保されていることが好ましい。このように構成すると、磁路を閉じることができる。